

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">道営農業農村整備事業における工事中災害について 〔 平成13年 1月16日設計第1535号 設計課長から各支庁農業振興部長あて 〕 一部改正 令和4年(2022年)9月20日事調第579号</p> <p>不可抗力による損害の取扱い（工事中災害について）</p> <p>【省略】</p> <p>Ⅲ 損害の負担範囲 損害額については発注者と受注者がそれぞれ次のとおり負担する。 1 受注者の負担範囲 損害額及び損害の取片付けに要する額（以下、「損害合計額」という。）のうち請負代金額の1／100までの額 請負代金額は損害を負担する時点における請負代金額とし、損害を負担する時点までに、軽微な設計変更を行っている場合は、その金額を含めた請負代金額とする。（以下、請負代金額について同様とする。） ※軽微総括と工事中災害に係る設計変更を同時に行ってもよい。</p> <p>例) 損害を負担する時点までに2回軽微な設計変更をしている場合 ①：既契約額 ②：第1回 軽微な設計変更 ③：第2回 軽微な設計変更 ※②、③は増減見込額を通知済み ④：軽微総括（＝②＋③） 請負代金額 ＝ ①＋④</p> <p>【省略】</p> <p>V 工事中災害の処理手順 【省略】 5 工事中災害であることを確認する。（契約書第28条第3項） 第59号様式（発生損害確認書）を作成する。</p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">道営農業農村整備事業における工事中災害について 〔 平成13年 1月16日設計第1535号 設計課長から各支庁農業振興部長あて 〕 一部改正 平成26年4月1日事調第1241号</p> <p>不可抗力による損害の取扱い（工事中災害について）</p> <p>【省略】</p> <p>Ⅲ 損害の負担範囲 損害額については発注者と受注者がそれぞれ負担する。 1 受注者の負担範囲 損害額及び損害の取片付けに要する額（以下、「損害合計額」という。）のうち請負代金額の1／100までの額</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p>【省略】</p> <p>V 工事中災害の処理手順 【省略】 5 工事中災害であることを確認する。（契約書第28条第3項） 第59号様式（発生損害確認書）を作成し、工事監督員及び現場代理人の双方が記名押印する。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																				
<p>第 58 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">損 害 発 生 通 知 書</p> <p style="text-align: right;">_____ 年 月 日</p> <p>(工事監督員) 様</p> <p style="text-align: right;">現場代理人 (氏 名) _____</p> <p>工 事 名 _____</p> <p>上記建設工事の施行に関し、不可抗力により、次のとおり損害が発生したので通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">損 害 発 生 の 日 時</td> <td>_____ 年 月 日 時 分</td> </tr> <tr> <td>損 害 概 算 額</td> <td>金 円</td> </tr> <tr> <td>損 害 発 生 の 原 因</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 害 の 内 容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他 参 考 事 項</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>注 「損害発生の原因」及び「損害の内容」欄については、できるだけ詳細に記載すること。</p>	損 害 発 生 の 日 時	_____ 年 月 日 時 分	損 害 概 算 額	金 円	損 害 発 生 の 原 因		損 害 の 内 容		そ の 他 参 考 事 項		<p>第 58 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">損 害 発 生 通 知 書</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>(工事監督員) 様</p> <p style="text-align: right;">現場代理人 (氏 名) ㊞</p> <p>工 事 名 _____</p> <p>上記建設工事の施行に関し、不可抗力により、次のとおり損害が発生したので通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">損 害 発 生 の 日 時</td> <td>平成 年 月 日 時 分</td> </tr> <tr> <td>損 害 概 算 額</td> <td>金 円</td> </tr> <tr> <td>損 害 発 生 の 原 因</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 害 の 内 容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他 参 考 事 項</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>注 「損害発生の原因」及び「損害の内容」欄については、できるだけ詳細に記載すること。</p>	損 害 発 生 の 日 時	平成 年 月 日 時 分	損 害 概 算 額	金 円	損 害 発 生 の 原 因		損 害 の 内 容		そ の 他 参 考 事 項		<p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p>
損 害 発 生 の 日 時	_____ 年 月 日 時 分																					
損 害 概 算 額	金 円																					
損 害 発 生 の 原 因																						
損 害 の 内 容																						
そ の 他 参 考 事 項																						
損 害 発 生 の 日 時	平成 年 月 日 時 分																					
損 害 概 算 額	金 円																					
損 害 発 生 の 原 因																						
損 害 の 内 容																						
そ の 他 参 考 事 項																						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>第 59 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">発 生 損 害 確 認 書</p> <p>工 事 名 _____</p> <p>上記建設工事に関し、____ 年 月 日に発生した天災その他の不可抗力により生じた損害について、____ 年 月 日現地調査の結果、次のとおり確認した。</p> <p>____ 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">工事監督員（職 氏 名）__ 現場代理人（ 氏 名）__</p> <p>1 損害発生の原因</p> <p>2 損 害 の 内 容</p> </div> <p>注 1 損害発生の原因は、できるだけ詳細に記載すること。 2 損害の内容は、工事の出来形部分、仮設物、工事現場に搬入した工事材料及び建設機械器具ごとに、その名称、規格、品質、性能、数量、損害の程度等できるだけ詳細に記載するものとし、必要に応じ別紙として添付すること。 3 この確認書には、損害発生の原因となった不可抗力の発生を証明する関係機関の証明書を添付すること。</p>	<p>第 59 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">発 生 損 害 確 認 書</p> <p>工 事 名 _____</p> <p>上記建設工事に関し、平成 年 月 日に発生した天災その他の不可抗力により生じた損害について、平成 年 月 日現地調査の結果、次のとおり確認した。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">工事監督員（職 氏 名）Ⓜ 現場代理人（ 氏 名）Ⓜ</p> <p>1 損害発生の原因</p> <p>2 損 害 の 内 容</p> </div> <p>注 1 損害発生の原因は、できるだけ詳細に記載すること。 2 損害の内容は、工事の出来形部分、仮設物、工事現場に搬入した工事材料及び建設機械器具ごとに、その名称、規格、品質、性能、数量、損害の程度等できるだけ詳細に記載するものとし、必要に応じ別紙として添付すること。 3 この確認書には、損害発生の原因となった不可抗力の発生を証明する関係機関の証明書を添付すること。</p>	<p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考												
<p>第 60 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">発 生 損 害 確 認 報 告 書</p> <p style="text-align: right;">_____ 年 月 日</p> <p>(支出負担行為担当者) 様</p> <p style="text-align: right;">工事監督員 (職 氏 名) _____</p> <p>工 事 名 _____</p> <p>上記建設工事について、_____ 年 月 日現場代理人から不可抗力により損害が発生した旨の通知があったので、_____ 年 月 日現場代理人立会いの下に調査を行った結果、別紙発生損害確認書のとおり確認したので報告します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">現場の管理状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 事 監 督 員 としての意見</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他参考事項</td> <td></td> </tr> </table> <p>注 この報告書には、発生損害確認書（第 59 号様式）及び現場代理人から提出された損害発生通知書（第 58 号様式）その他必要に応じ図面等を添付すること。</p> </div>	現場の管理状況		工 事 監 督 員 としての意見		その他参考事項		<p>第 60 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">発 生 損 害 確 認 報 告 書</p> <p style="text-align: right;">平成 _____ 年 月 日</p> <p>(支出負担行為担当者) 様</p> <p style="text-align: right;">工事監督員 (職 氏 名) _____ ㊞</p> <p>工 事 名 _____</p> <p>上記建設工事について、平成 _____ 年 月 日現場代理人から不可抗力により損害が発生した旨の通知があったので、平成 _____ 年 月 日現場代理人立会いの下に調査を行った結果、別紙発生損害確認書のとおり確認したので報告します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">現場の管理状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 事 監 督 員 としての意見</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他参考事項</td> <td></td> </tr> </table> <p>注 この報告書には、発生損害確認書（第 59 号様式）及び現場代理人から提出された損害発生通知書（第 58 号様式）その他必要に応じ図面等を添付すること。</p> </div>	現場の管理状況		工 事 監 督 員 としての意見		その他参考事項		<p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p>
現場の管理状況														
工 事 監 督 員 としての意見														
その他参考事項														
現場の管理状況														
工 事 監 督 員 としての意見														
その他参考事項														

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>第 61 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">損 害 負 担 請 求 書</p> <p style="text-align: right;">_____ 年 月 日</p> <p>(支出負担行為担当者) 様</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 氏 名 _____</p> <p>工 事 名</p> <hr style="border: 0.5px solid black; margin: 10px 0;"/> <p>_____ 年 月 日付けの発生損害確認書により確認された不可抗力による損害について、その負担を請求します。</p> </div>	<p>第 61 号様式</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">損 害 負 担 請 求 書</p> <p style="text-align: right;">平成 _____ 年 月 日</p> <p>(支出負担行為担当者) 様</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 氏 名 _____ ⑩</p> <p>工 事 名</p> <hr style="border: 0.5px solid black; margin: 10px 0;"/> <p>平成 _____ 年 月 日付けの発生損害確認書により確認された不可抗力による損害について、その負担を請求します。</p> </div>	<p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p> <p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p>

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考
工事中災害の処理手順				工事中災害の処理手順				
受注者又は現場代理人	工事監督員	支出負担行為担当者	備考	受注者又は現場代理人	工事監督員	支出負担行為担当者	備考	
<p>○災害の発生</p> <p>○工事監督員に通知</p> <p>損害発生通知書（標準様式第58号）</p> <p>現場確認、現場保全に支障をきたさないよう直ちに行う。 必要に応じ、増破防止のため臨機の措置を講ずる。</p> <p>○現地調査</p> <p>立会</p> <p>○損害の請求</p> <p>発生損害負担請求書（標準様式第61号）</p> <p>内訳明細、算出根拠等を添付する。</p>	<p>○現地調査</p> <p>損害発生の原因、損害の内容、事実発生時における管理状況等</p> <p>○災害の事実発生報告（第一報）</p> <p>口頭又は電話等により概況報告</p> <p>○事実確認</p> <p>発生損害確認書（標準様式第59号）</p> <p>天災その他の不可抗力の発生、程度等を証明する関係機関の証明書類を添付</p> <p>○報告</p> <p>発生損害確認報告書（標準様式第60号）</p> <p>「損害発生通知書」 「発生損害確認書」 「その他必要な図面等」を添付 損害合計額の概算明細書を添付する。 「工事監督員としての意見」欄に不可抗力による損害（工事中災害）で取り扱うか否か明記する。</p> <p>原則として工事監督員経由</p>	<p>○整備課等事業担当者が電話受理簿で内容確認する。</p>	<p>○標準契約書第28条第1項</p> <p>本条規定は「出来形部分等に経済的損失が生じた場合の規定であるが、未施工部分が被災し、現場に状況変化をきたした場合は、第17条規定の現場不符号等の対応を伴うので、損害の有無にかかわらず、被災事実について通知することが望ましい。</p> <p>○標準契約書第28条第2項</p> <p>○建設工事執行規則第18条第2項第2号</p> <p>○標準契約書第28条第3項</p> <p>損害発生の原因は詳細に記載 損害内容は下記項目毎に名称、規格、品質、性能、数量、損害の程度を詳細に記載 (1) 工事の出来形部分 (2) 搬入した工事材料 (3) 工事仮設物又は機械機器 (4) 損害の取片付け</p> <p>○標準契約書第28条第4項</p> <p>災害が複数回発生する可能性があるため損害額の累計を容易にするため災害発生毎に請求させる。</p>	<p>○災害の発生</p> <p>○工事監督員に通知</p> <p>損害発生通知書（標準様式第58号）</p> <p>現場確認、現場保全に支障をきたさないよう直ちに行う。 必要に応じ、増破防止のため臨機の措置を講ずる。</p> <p>○現地調査</p> <p>立会</p> <p>○損害の請求</p> <p>発生損害負担請求書（標準様式第61号）</p> <p>内訳明細、算出根拠等を添付する。</p>	<p>○現地調査</p> <p>損害発生の原因、損害の内容、事実発生時における管理状況等</p> <p>○災害の事実発生報告（第一報）</p> <p>口頭又は電話等により概況報告</p> <p>○事実確認</p> <p>発生損害確認書（標準様式第59号）</p> <p>天災その他の不可抗力の発生、程度等を証明する関係機関の証明書類を添付</p> <p>○報告</p> <p>発生損害確認報告書（標準様式第60号）</p> <p>「損害発生通知書」 「発生損害確認書」 「その他必要な図面等」を添付 損害合計額の概算明細書を添付する。 「工事監督員としての意見」欄に不可抗力による損害（工事中災害）で取り扱うか否か明記する。</p> <p>原則として工事監督員経由</p>	<p>○整備課等事業担当者が電話受理簿で内容確認する。</p>	<p>○標準契約書第28条第1項</p> <p>本条規定は「出来形部分等に経済的損失が生じた場合の規定であるが、未施工部分が被災し、現場に状況変化をきたした場合は、第17条規定の現場不符号等の対応を伴うので、損害の有無にかかわらず、被災事実について通知することが望ましい。</p> <p>○標準契約書第28条第2項</p> <p>○建設工事執行規則第18条第2項第2号</p> <p>○標準契約書第28条第3項</p> <p>損害発生の原因は詳細に記載 損害内容は下記項目毎に名称、規格、品質、性能、数量、損害の程度を詳細に記載 (1) 工事の出来形部分 (2) 搬入した工事材料 (3) 工事仮設物又は機械機器 (4) 損害の取片付け</p> <p>○標準契約書第28条第4項</p> <p>災害が複数回発生する可能性があるため損害額の累計を容易にするため災害発生毎に請求させる。</p>	<p>「建設工事事務取扱標準様式」と整合。</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>○損害合計額の算出 ①出来形部分に関する損害 ②工事材料に関する損害 ③仮設物又は建設機械器具に関する損害 ④当該損害の取片付けに要する費用 ⑤残存価値評価額 ⑥受注者の善管義務に係る査定 ⑦火災保険、その他の保険等のでん補に係る査定</p> <p>○損害合計額の協議 打合せ協議簿の作成</p> <p>○損害合計額の決定</p> <p>○発注者の負担額決定 損害合計額のうち、請負代金額の1/100を超える額が発注者の負担額となる。</p> <p>◇発注者の負担が生じた場合 ○設計変更による請負代金額の変更 請負代金額の変更に代えて設計図書の変更を行う。</p> <p>○設計変更の作成 被災の復旧により生じる設計変更を含めて請負代金額を変更する。</p> <p>設計変更上申書（標準様式第35号）</p> <p>○新設計額の積算 被災直前の出来形部分等にかかる現設計額と、被災後の施工にかかる手戻工事及び工法変更等を含む設計額を合わせた新設計額 ○新請負代金額の算定 新請負代金額から損害合計額うちの受注者の負担額を減額する。</p> <p>◇発注者の負担が生じない場合</p>	<p>○標準契約書第28条第6項</p> <p>災害発生時点で軽微な設計変更をしている場合は、その金額を含めて請負代金額とする。</p> <p>○標準契約書第28号第5項</p> <p>○標準契約書第29条</p> <p>○標準契約書第17条、第18条</p> <p>○新設計額の積算 被災直前の出来形部分等にかかる現設計額と、被災後の施工にかかる手戻工事及び工法変更等を含む設計額を合わせた新設計額 ○新請負代金額の算定 新請負代金額から損害合計額うちの受注者の負担額を減額する。</p>	<p>○標準契約書第28条第6項</p> <p>○標準契約書第28号第5項</p> <p>○標準契約書第29条</p> <p>○標準契約書第17条、第18条</p> <p>○新設計額の積算 被災直前の出来形部分等にかかる現設計額と、被災後の施工にかかる手戻工事及び工法変更等を含む設計額を合わせた新設計額 ○新請負代金額の算定 新請負代金額から損害合計額うちの受注者の負担額を減額する。</p>
<p>○ ← 双方記名押印</p> <p>○ ←</p> <p>○ ←</p>	<p>○ ← 双方記名押印</p> <p>○ ←</p> <p>○ ←</p>	<p>○ ←</p> <p>○ ←</p> <p>○ ←</p>

字句の修正